

第2回 参加人数:115名

ハッチネットセミナー

八王子市生涯学習センター クリエイトホール

令和7年9月11日(木) 18:30～20:30

八王子市幼児教育・保育センター 連絡先 042-673-3707

幼児教育・保育施設で働く方を中心に特別な支援を必要とするお子さんの理解・援助を知っていただくために八王子市医師会小児科部会の先生方にご協力いただき、平成28年度(2016年)から八王子市が主催し、年4回実施しているセミナーです。

講義「子どもの育ちを支える地域連携」



講師:子どもと家族のメンタルクリニックやまねこ
院長 田中 哲 氏

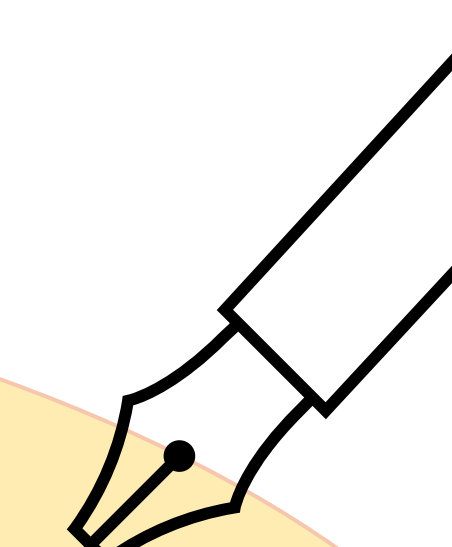
以下を中心に講義をしていただきました。

- ・子どものbeingを大切にするという視点
- ・(ウチ↔ヨソ×能動↔受動)の循環
- ・「発達障害」とは何か
- ・発達障害のある子どもたちは地域で支えられる

アンケートに寄せられた感想 (一部抜粋)

心の育ち方、beingの本当の意味、ウチ・ヨソモードとふりこ説、育てるコミュニティ全てがわかりやすく勉強になりました。ウチ・ヨソモードの視覚化はとてもイメージしやすく、大変わかりやすかったです。

子どもの行動エネルギーの段階が分かりやすかったです。発達のルートも色々ありアンバランスを乗り越える力があることは希望になります。家庭を支えるコミュニティの1つ(1人)でありたいと思いました。



次回のハッチネットセミナー

講師:国立精神・神経医療研究センター病院 副院長 中川 栄二 氏

日時:令和7年(2025年)11月13日(木) 午後6時30分から午後8時30分まで

会場:教育センター大会議室

内容:「発達障害とてんかん」

「心」に寄り添い
「安心」する環境

～幼児教育・保育アドバイザーより～

現場では、子どもが何をしたか(行動)に目を向けがちですが、「その子が“そこにいる”こと自体の意味や価値」を重視する必要があります。行動の背景にある気持ちや環境に寄り添う視点が、子どもの安心感につながります。子どもの感情表現を否定せずに受け止め、保護者との関係づくりにおいては、共感的な姿勢を大切にして行きましょう。